

まちの話題



隈元 前市長 退任の花道

11/27



隈元新前市長が勇退されました。隈元氏は、旧大口市長を4期約13年、伊佐市長を3期12年務められました。

隈元氏は25年間を振り返り「たくさんの方々のご支援があって、大過なく行政運営を行うことができました。心から感謝申し上げます。市役所は、市民の生命と財産を守るためにあります。橋本市長の下、危機管理を徹底し、市民のための行政サービスをお願いします」と話し、職員からの盛大な拍手を送られながら、市役所を後にしました。

歓迎！ カヌー女子日本代表候補選手

11月20日～12月6日、カヌースプリント競技女子日本代表候補選手が強化合宿を行い、12月1日に歓迎式を行いました。

橋本市長は「日本トップレベルの選手に菱刈カヌー競技場を利用させていただきありがとうございます。モチベーションの維持が難しい時節ですが、ケガなどに気をつけて頑張ってください」と激励し、伊佐米やスポーツドリンクを贈りました。

小野祐佳選手は「昨年の合宿に続き、歓迎に感謝します。3月のアジア予選で結果を出して、東京オリンピックに出場できるよう全力で頑張ります」と選手団を代表して決意を述べました。



ありがとうございます

「寄贈品提供事業所」（敬称略・順不同）

- ・興農産業(株)
- ・(株)やまびこの郷
- ・(農)エコファーム永池
- ・(株)ファームK
- ・(株)神菌商店
- ・(株)小北農場
- ・(株)伊佐牧場
- ・(株)財宝

娘さんに「ありがとう」の手紙



「小さな親切」はがきキャンペーンにて、上野弘子さんが県本部長賞及び全国入選を受賞しました。

上野さんは「広報いさ7月号の募集をみて応募しました。娘へ素直な感謝の気持ちを綴ったところ、全国表彰までいただきとても驚きました」と話しました。

全国市町村教育委員会連合会表彰 及び県市町村教育委員会 連絡協議会表彰



平成19年3月から令和元年12月まで、伊佐市教育委員として教育行政にご尽力いただいた功績が称えられ、表彰されました。

川原 惟昭さん（下之馬場）

監査委員選任



令和2年12月8日に開かれた市議会定例会で議会の同意を受け、武本進一議員が監査委員に選任されました。

市固定資産評価審査委員会 委員選任

令和2年12月8日に開かれた市議会定例会で議会の同意を受け、次の方々が固定資産評価審査委員に選任されました。

竹下 静雄氏（西本町・再任）
桐原 茂太氏（西本町・再任）
上蘭 信行氏（本城宇都・新任）

担い手不足解消へ スマート農業（表紙）

12/10



カミチクファーム伊佐牧場にて、伊佐農林高校生がスマート畜産技術現場講習を受けました。

スマート農業とは、これからの労働人口不足を補うために、AIやロボットなどの先進技術を活用する新しい農業技術です。

伊佐牧場では、牛の首につけたセンサーで行動や体調を自動で管理・記録する「U-Motion」や、子牛に自動哺乳する「カーフレール」を導入し、作業量とデータ管理の効率化に取り組んでいます。

日高明希さん（2年）は「多くの頭数を効率的に飼育されていて、作業量の軽減に繋がっていると思いました。新しい農業の知識として、とても勉強になりました」と話しました。

思いやりの気持ちを育む

12/8



南永小学校で人権集会が行われ、人権擁護委員から「人権の花」運動の感謝状と人KENまもる君マスコットの記念品が贈呈されました。

人権について考える授業では、外見や能力の違いによる個性を認め合うことの大切さを学びました。阿部このみさん（5年）は「人にはそれぞれ特徴があるので、友達が嫌な気持ちにならないように思いやりのある行動を忘れないようにしたいです」と話しました。

豪雨災害へ義援金

11/16



伊佐市商工会青年部の代表者らが山野コミュニティ協議会へ令和2年7月豪雨災害の義援金を手渡しました。

商工会青年部では、市内155事業所に募金箱を設置し、集まった343,694円を義援金として贈呈しました。

同協議会の丸田和文会長は「温かいお心遣いに、校区を代表して心よりお礼申し上げます。みんなで話し合って有効に活用させていただきます」と話しました。

郷土の農産物を学ぼう！

11/21



「食のふるさと探検隊」として県内の小学生と保護者21組44人が伊佐市を訪問し、白銀ねぎの収穫を体験しました。

これは、子どもたちに農産物に関する正しい知識と収穫体験を通して、鹿児島県の食文化への理解を深めてもらおうと、県学校給食会が企画したものです。

宮下龍之介さん（鹿児島市立西田小5年）は「ねぎがどんなふうにはりこめられているか知らなかったのが驚きました。においの成分や効果なども勉強できて、ねぎのことがもっと大好きになりました」と笑顔でした。

サル被害防止対策を学ぶ

11/20



南永小学校体育館で始良・伊佐地域鳥獣被害対策研修会が開催され、地域住民や猟友会、関係機関など52人が参加しました。

講師の井上雅央さん（元近畿中国四国農研センター鳥獣害研修チーム長）は地域でできる鳥獣被害防止策として、①住み処をつくらないこと②エサを無くすこと③追い払うことをあげ、近くの畑でわかりやすく指導しました。

住民の連携によって、サルを人間の生活圏から追い出して山に返すことが、サルの保護にもつながります。